

研究指導計画書及び研究指導報告書実施要領

令和2年度教務・入試委員会作成
令和7年4月4日教務・入試委員会承認

この実施要領は、「徳島大学大学院研究指導ガイドライン」に基づき、総合科学教育部において研究指導を行なう上で作成する「研究指導計画書」、「研究指導報告書」の運用についての一例をまとめたものである。「研究指導計画書」は word で作成し、学生に提示・指導する。「研究指導報告書」は教務システム上で作成・提出する。

1. 対象学生

- (1) 総合科学教育部に在学する全学生（休学中の学生は除く。）

2. 「研究指導計画書」、「研究指導報告書」作成時期

～4月初め～

大学院学生は、各年次初めに「研究計画」を主指導教員から説明を受ける。

※2年間の履修予定科目を主指導教員と確認しておくこと。

～9月下旬～

- ①大学院学生は、研究指導計画書に示された内容を実施したことを「研究指導報告書」にチェックし、研究指導の進捗状況や実績、成果等を主指導教員の指導に基づき入力を進める。
- ②主任指導教員は、学生が入力した「研究指導報告書」を面談等で確認し、コメント等を入力する。
- ③副指導教員及びアドバイザー教員は、学生が入力した「研究指導報告書」を面談等で確認し、コメント等を入力する。

～3月下旬（最終年次は学位論文提出時期まで）～

- ①大学院学生は、各年次の終了時（修了予定の最終年次は学位論文提出時期まで）に、「研究指導報告書」へ実施した内容を入力する。
- ②主指導教員は、学生が入力した「研究指導報告書」を面談等で確認し、コメント等を入力する。
- ③副指導教員及びアドバイザー教員は、学生自身が入力した研究指導報告書を面談等で確認し、コメント等を入力する。
- ④主指導教員は、確認が終了した「研究指導報告書」を総合科学部事務課学務係へ提出する。
（提出期限：3月末日、修了予定者は学位論文提出時）

3. その他

- (1) 面談等は、電話やメール等による連絡でも可とする。

(2) 休学中の学生は、復学後に記載する。

(3) アドバイザー教員は直接研究指導を行わない客観的な立場の教員であり、論文作成とは関係なく教育研究活動が円滑に行えるように指導・助言を行う。

(4) 総合科学教育部における研究活動チェックリストは原則1月1日を基準に作成し、主指導教員が学位申請時まで保管しておき学位申請時に他の書類と一緒に提出する。